

⑨ 花相撲

秋祭りのお宮の境内は、青年団の手で土俵がつくられている。子供達の打つ太鼓の音が鳴りひびき、さそわれるように人の波が参道を上がってくる。

昭和二十年代ころまでは、河和田地区は秋の祭礼に奉納相撲を行った。

地区の勇士たちが顔をそろえると、まず子供の相撲から始

まった。豆力士のしぐさには笑い声もあがった。賞品にはノ

ートなど学用品が渡された。

つづいてが大人の相撲。三人抜き、五人抜きと次第に力が

入り、我を忘れて応援する。最後に優勝者に御花（金一封）

が渡され、村を挙げての花相撲はお開きとなった。

この大関を勝ち取った優勝者の集落が、来年の相撲の

開催地になるならわしであった。

